「とは言え、チョウを網で捕まえるのはむずかしい」

進級・入園おめでとうございます。満開の桜に歓迎されているかのように新年度を迎えました。

子供たちはとてもはりきって４月をスタートさせました。春のうららかさが子供たちをさらに元気にしているように感じます。５歳児はアミと虫かごを持って、チョウを探して園庭を駆け回っています。

「ねえ…桜の花びらがひらひらしてチョウチョみたいでしょ。ここで待ってたら仲間だと思って飛んできてくれるかもしれないわよ」と、とってもステキな作戦を思いついた５歳児さんでした。

風の子便り

KAZENOKO DAYORI

滋賀大学教育学部附属幼稚園

幼稚園は 元気に楽しく！

幼児期の教育は生涯にわたる人格形成の基盤を培う重要なものである…（教育基本法第 11 条抜粋）

人格形成の基礎を培うといっても、もちろん幼児期の教育だけで未来が決まるわけではありませんが、質の高い幼児教育を受けることが、子供のその後の人生における成果にもつながるというエビデンスが増加しています。

環境を通した直接体験によって育まれる感性や創造性、社会性の発達に伴って育まれる非認知能力（社会情動的スキルともいわれています）、体を動かして遊ぶことによる体力や運動技能の向上など、生涯にわたって「自分らしく生きる」ための**基礎となる力**の多くが幼児期に育まれることは確かです。

そんな大切な日々を幼稚園で共に過ごせることに感謝して、子供たち、保護者の皆様と今年も元気に楽しく過ごしたいと考えています。

https://www.mext.go.jp/content/20210720-mxt_youji-000016944_09.pdf （参考）

附属幼稚園ががんばっていること

附属幼稚園の使命の一つとして「教育研究」があります。県内外の幼児教育の質向上に寄与するために、先見的な視野をもって研究を進めています。（土曜日セミナーも時々やっています。）

“いま”を生きる×“これから”を生きぬく力を育む保育をテーマに、幼児期にふさわしい生活を SDGｓの視点から省察してきました。今年は幼児期から小学校までの架け橋期における教育カリキュラムの編集に向けて研究を進めます。

さて、その他に

- ○ 教員養成校として多くの教育実習生を受け入れます。
- ○ 研究成果や、教員各々の実践、研究分野を生かして講師として市町に出向きます。
- ○ 附属学校園で“いまを生きる”を共通の理念として連携・協力して教育を進めます。
- ○ 保護者の協力もいただきながらより魅力的で自然豊かな園環境を整備していきます。

ご理解、ご協力どうぞよろしくお願いします。

～副園長のおしゃべり～

京都で出会った上気したような美しい色の着物は桜で染めたと言う。可憐な花びらを煮詰めたのだろうと思ったが幹の内皮「醤皮」から染めたものと知り、命の神秘に心を打たれた。▶開花直前にしか得られないその色は、桜が全身で最上の色を生み出そうとする証。花びらは口紅を差したように先だけをほんのりと染めているが、幹の中では濃密な桜の精が滔々と流れている。見えない命の神秘に感動し人も桜のようであればと思った。▶冬の間に他を生む力を桜が蓄えるように、苦しい時に自分の中に何かを蓄える。いつか花開く時は来る。そんな思いが胸に広がる。風に揺れるつぼみを見ていたら、そう信じられるような気がした。桜前線が列島を染める。「天声人語 3･25 要約」

家庭で、幼稚園で、地域で、日々の暮らしを積み重ねて育まれる子供たちの「自分色」。いつか、どんなふうに花開くのか、期待してやみません。僕は、…年を重ねたぶんきっと渋い色になってると思う。

季節のアルバム

登園初日のすみれ組。お帰りの前に先生のお話を聞いています。なんと！！椅子に座って！3匹程度のネコを背負っているでしょうか･･･。

ごった返すままごとコーナー。自分が見つけたいい感じのおもちゃを手にして遊びます。お気に入りの場所、お気に入りのもの、大切です。

大きな砂場でハッスルしちゃっている４歳児。砂と水のおもしろさを感じながらダイナミックに遊びが進みます。心と体と頭で遊びを満喫！

走り回ってもきりがなく、よし、そういうことなら築山に上って見渡せばいい。虫を捕まえるにも知恵が必要。だが、今のところ成果なし…。

去年も存分に楽しんでいた色水遊びですが、なんと言っても道具が違う。年長だしねー。友達と色を比べたり、工夫したりする姿も

年中になったら使ってもいいジャングラミング！みんなで使い方のお勉強もしておきましょう。ちなみに３階は年長さんだけです。

SDGｓから園独自に作成した６つのアイコン。子供たちの様子をお伝えする時にも使っています。

したことがないことはやってみたい。そんな性分なので、できるようになったことはそれなりに多くある。ただ、もちろんはじめからうまくいくわけはないので失敗の成果物、いわゆるガラクタがどんどん増えていく。失敗は授業料だと思っているが、やっぱりモノは増えていく。すでに先生たちは感づいているが私は整頓がめっきり苦手である。なのでたまに意を決して片付けようとするが、それは整理になってしまう。整頓はととのえること。整理は処分すること最近覚えたので使ってみた^^；　このスペース、以前は読者とのお便り交換に使っていたのだが、ペーパーレスとなって以来、独り言コーナーとなっている。おそらく今後もますます縮小されるであろう…。ただ、少数のコアな読者がいらっしゃるようなのでコメント交換は続けていきたいと思っている。感想や意見を紙の切れ端やお気に入りの一筆箋にしたためていただけると、ほぼもれなくお返事が届くという画期的なシステムが存在するのである。